

臨床情報及び検体等の研究利用に関する情報公開文章

研究課題名 『・新規抗菌薬使用指標（DASC: Days of Antibiotic Spectrum Coverage）を用いた入院患者の抗菌薬適正使用の状況調査
・AWaRe 分類に基づいた当院の外来抗菌薬の使用実態調査 』

研究機関名 JCHO さいたま北部医療センター

【研究の目的・意義】

2023 年に AMR アクションプランが改定され、AMR 対策の中でも、抗菌薬適正使用が耐性菌問題の解決方法の 1 つと考えられている。抗菌薬適正使用の指標としては、個々の抗菌薬のスペクトルの広さを示す Antibiotic Spectrum Coverage (ASC) score と投与日数を用いて算出する DASC が開発され、de-escalation や疾患または病原体特異的な抗菌薬使用の評価指標として適しているとされている。また、外来抗菌薬の適正使用について現在参加しているサーベイランス事業が今年度から外来抗菌薬のサーベイランスも実装され、抗菌薬適正使用体制加算が新設された。今後の抗菌薬の適切な管理を検討するためや、加算の算定の可能性を探るためにも、当院の状況把握する必要があり、これらの指標も含めて実態調査を行いたい。

【医学的貢献】

当院における今後の感染症治療の際の抗菌薬の適正使用に貢献できる可能性がある。

【調査及び、検査項目】

・抗菌薬の処方データ、抗菌薬の処方目的、培養データ、身長、体重、年齢、肝機能、腎機能、ALB、血算、CRP、尿検査所見、レントゲン画像などの画像所見、血圧、体温などのバイタルサイン

【対象及び対象となると予想される症例数】

抗菌薬を処方された患者様(入院及び外来)

【実施期間】

令和 5 年 10 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日

【個人情報について】

この研究はさいたま JCHO 北部医療センター倫理委員会の承認を得て実施するものです。

研究に利用する患者様の個人情報はすべて削除し、厳重に管理致します。

今回の研究での結果及び成果を医学学会等にて報告する可能性があります。

本研究に対しご意見、ご質問のある方、診療情報の提供を承諾されない方はお手数ですが、下記までご連絡お願い致します。

【研究に関する問い合わせ先】

さいたま北部医療センター

薬剤部 鈴木 朋克 048-663-1671 (病院代表)